

## 第6回 閑上復興まちづくり推進協議会 議事要旨

日時：平成24年1月25日（水）19:00～

場所：市役所震災復興部会議室

### ■議事要旨

#### 1. あいさつ

#### 2. 前回の協議会概要

#### 3. 意向調査について

##### 【委員の方々からの主な意見】

- ・この意向調査のあとのスケジュールはどのように考えているのか。次の意向調査の時期が決まっていて、ざっくりとした質問ということであれば、この内容でも構わないと思うが、次の時期がだいぶ先になるのであれば、もう少し具体的なものがないのではないか。

→事務局：今日意向調査の内容が決定するのであれば、来週初めには発送したい。3月末に区画整理の決定を行い、予定通り進めば、個別の意向確認に進んでいけると思っている。次回意向調査の具体的な時期は想定していない。

- ・二世帯の場合は意向調査を2通入れてもらえるのか。息子の世帯と考えが異なる場合があると思う。

→事務局：3月11日時点での世帯に郵送するため、そのような場合はコピー等で対応していただきたい。

#### 4. 土地利用について

##### 【委員の方々からの主な意見】

##### ●中高層の公営住宅について

- ・南側に中高層を並べると景色が悪くなってしまう。川面は防波堤で見えないのだから、南側は開けた景色にするのがよいのではないか。
- ・名取川沿いに低層の建物を整備するのであれば、後ろ側が壁になってしまう。地形にあった考え方をした方がよい。

◎中高層の公営住宅については名取川沿いおよび貞山運河沿いに配置することにする。

##### ●日和山公園、湊神社について

- ・日和山公園と神社を一緒にして、緊急的な避難場所に来るのではないか。
- ・日和山の現状は、多くの方がお供えをするために訪れている。石碑を置くといった対応が必要である。場所は今よりもっと大きくする方がよい。
- ・神社はまちの中ないと不便である。

- ・神社も公園の一つとして見ることができるのではないか。
  - ・神社は意味があってあの場所になっているのではないか。
  - ・神社が二つ一緒にあるのは違和感がある。現在の日和山の大きさを5倍くらいにしないといけない。それは難しいのではないか。
  - ・神社の整備に市の予算を使うのは難しいのではないか。
- ◎墓地は従来の位置とし、寺社も従来と同じ位置とする。

#### ●公共公益施設について

- ◎警察、郵便、金融機関などの公益施設はまちの中心部に配置する。

#### ●学校について

- ・学校を西側に配置すると、通学距離が長くなってしまう。津波を恐れて、徒歩距離を長くするのはどうかと思う。
  - ・小学校の近くに災害公営住宅を整備すれば、通学距離は短くてすむ。
  - ・小学校は、地域でみれば災害時に避難できる大きな場所になる。心情的には分かるが、6年間通うことを考えると大変ではないか。震災を踏まえると、元の位置近くがいいのではないか。
  - ・今までの議論があって、西側に配置している。避難場所として5分以内に避難できる場所を設けていけばよい。
  - ・車の通らない通学路というものを作ればよい。コミュニティの場所にもなる。
  - ・昔は市場のあたりから小学校まで通っていた。東側が非居住地域となる分、今までよりもだいぶ楽である。
  - ・子どもたちの距離感というものがある。昔の感覚を求めるわけにはいかない。PTAの意見も取り入れなければならない。
  - ・子どもが少なくなってきた状況を考えれば、西側の位置でもいいのではないか。
  - ・前回の意向調査では、半数近くが東部道路より西側を希望していた。しかし、それは難しいということなので、今の西側の位置に落ち着いたはずである。学校の位置に議論が集中するのであれば、学校の位置を再度聞き直すのもいいのではないか。
- ◎小学校は西の端部に配置し、車の通らない通学路を確保する。

#### ●商店街について

- ・公設市場は2か所必要である。住宅兼用ではなく、専用店舗の方がいいと思う。
- ・公設市場は今まで全て失敗している。いつでも撤去可能なバラックの形態の方がよい。
- ・復興計画の中に、まちの面影再生エリアというものがあるが、その面影再生エリアを公営住宅に利用した方が、利用価値が高い。

◎商店街は2箇所くらいに分散して配置する。まちの面影再生エリアについては特に必要性を感じられない。

## **5. その他**

- ・無電柱化を前提に検討してほしい。
- ・次回の開催は2月15日とし、土地利用計画案及び意向調査の速報を提示する。